

福岡市MICE関連施設整備方針(案)の検討状況について

■ 整備方針(案)について

- 福岡市では、MICE機能の強化を図るため、コンベンションゾーンにおいて、第2期展示場等の整備やホテル・賑わい施設等の民間施設の誘致に向けて取り組んでいる。
- 今後、MICE機能強化を図っていくためには、施設整備・運営への民間ノウハウの活用や、道路等の交通基盤整備が不可欠であり、整備主体や運営主体が異なるこれらの施設について、官民が取り組みの方向性やそれぞれの役割を共有し進めていくため、施設概要や整備の考え方など、現時点での市としての基本的な考え方を示すもの。

1. 検討状況について

- 現在、「整備方針(案)」の策定に向け、第2期展示場やホテル・賑わい施設などの施設概要や配置等について検討しているところであり、あわせて民間事業者へのヒアリング等を行ってきたところである。
- 今後、さらに以下の視点から既存施設の用地(福岡サンパレス用地)も含めて検討を進める。

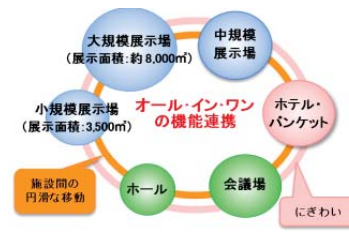
<検討の視点>

1) ウォーターフロント地区における新たな顔づくり

- ・ 国際競争力のある都心部の形成にあたっては、ウォーターフロント地区において、MICE施設の集積やクルーズの寄港、貴重な親水空間を活かした都市機能の集積を図り、天神地区、博多駅地区に次ぐ第3の拠点となるまちづくりが必要である。
- ・ そのためには、ウォーターフロント地区の顔となるエントランスゾーンにおいて、シンボリックで賑わいのある交流空間の創出や分かりやすく効率的な交通処理の実現が必要である。

2) MICE関連施設の持続性を持った更新

- ・ 国際競争力のあるMICE拠点の形成に向け、国際会議場、展示場のほか、ホテルなどが徒歩圏内に一体的に配置された「オール・イン・ワン」を実現するとともに、将来に渡ってMICE機能の一体性が確保されるよう、コンベンションゾーン内で既存ホール(福岡サンパレスホール)などを適切に更新・配置していく必要がある。



■ オール・イン・ワンの概念図

3) 民間事業者の進出の促進

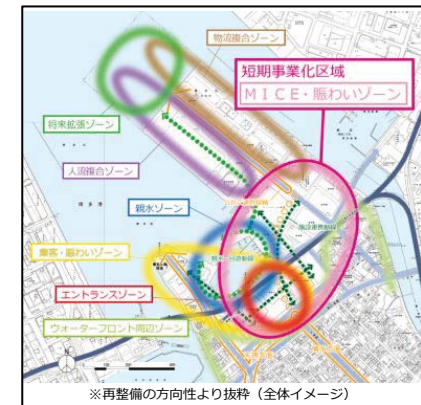
- ・ これまでの民間事業者へのヒアリングにおいて、民間施設の立地にあたっては、既存施設の更新も含めた整備を行うことで、より望ましい施設配置や交通処理が可能になるなど、計画の自由度や事業性が向上するとの意見がっており、官民連携による新たな拠点づくりを進めるためには、民間施設の立地を促す環境づくりも必要である。

2. 今後の進め方について

- これまでの検討に加え、既存施設用地も含めた検討を行い、「MICE関連施設整備方針(案)」として、H26年度内に取りまとめる。
- また、今後、民間施設の誘致を進めるにあたっては、民間事業者の企画力を活用し、事業性を確認した上で、事業公募を進めることが必要であることから、**民間事業者からの提案を募集し対話を行い、具体的な計画づくりや事業者公募の手続きを進めていく。**

■ 民間事業者から提案を求める内容(案)

- 1) 地区全体に関すること
 - ① 土地利用計画(導入機能等)
 - ② 動線計画
 - ③ 景観に関すること など
- 2) 短期的事業化区域に関すること (MICE・賑わいゾーン)
 - ① 施設配置計画
 - ② 事業手法、事業性に関すること など



※再整備の方向性より抜粋(全体イメージ)

■ スケジュール(案)

